

春季に開催される山梨県の絶対に外せないお祭り

日本では特に夏季において、多様なお祭りがあると知られていますが、春季に来日した場合、花見以外の他のお祭りがあるのでしょうか。

答えはあります。特に、山梨県では花見だけでなく、甲府市の指定文化財に指定されている金櫻神社の大々神楽を味わうチャンスです。この神社は昇仙峡と近いので、必ず外さないようにしてください。



1. 金櫻神社の概要

御岳町に金櫻神社は日本三御岳の一つに数えられて、江戸時代から御岳講の信者で賑わっていました。

約 2000 年前に、疫病が蔓延したとき、各地に神を祀り、疫病の早期終息と健康を祈願しました。

その際、金峰山山頂に御祭神である少彦名命を祀ったのが金櫻神社の起源になります。金峰山山頂に本宮があって、金櫻神社は里宮にあたります。（里

宮はひとつの神社が複数の神殿を持っている場合に、山のふもとの村などにある社ということです)

さらに、金桜神社ではご神宝の中でも水晶玉「火の玉・水の玉」はよく知られています。そして、金桜の由来でもある御神木の「金櫻」（種類は鬱金桜）は古くから民謡に唄われている「金の成る木の金櫻」として崇められています。4月下旬から5月上旬にかけて淡い黄金味を帯びた花が満開となり、この季節にこの櫻を拝み水晶のお守りをうけると一生涯金運に恵まれ、厄難解除のご神徳をうけられるものと全国各地からの参拝者で賑わっています。



2. 金桜神社の大々神楽

金桜神社の例大祭で舞われる大々神楽は神楽に使用する面と衣裳も市の文化財に指定されています。金桜神社の大々神楽は26の楽曲が伝えられているといわれますが、現在舞われるのは10座程度で、神社の拝殿で行われます。火伏せのためにも行われる「ヘンベイ」など、それぞれの舞には独自の意味があります。



3. 感想

日本各地にはそれぞれに特色のある祭りがありますが、金桜神社の大々神楽祭に来れば、祭りの雰囲気を楽しみながら桜を眺めることができ、春の昇仙峡も訪れることができます！また、目的の観光スポットへはバスを利用して行くことができます！春の彩りを満喫しに、是非山梨へお越しください！

